

11月26日(水)開催

18:30 ▶ 20:00

講座後に
限定配信あり
11月25日までに
要申込

DVや性暴力を 男尊女卑依存症社会 から考える



女性に対する暴力撤廃の象徴であるパープルリボンと、児童虐待防止の象徴であるオレンジリボンを組み合わせたパープル&オレンジリボンのツリー

現代社会における生きづらさの根底には、男尊女卑の価値観に基づいた「男らしさ」や「女らしさ」というジェンダーの考えに対して多くの人が過剰に適応している状況があると講師は考えます。

その苦痛を緩和するために何かにハマって、依存症が引き起こされると指摘しています。

パープルリボンキャンペーンとは

11月12日から25日までの2週間は、「女性に対する暴力をなくす運動」の実施期間です。久留米市でも、国の運動期間にあわせて「パープルリボンキャンペーン」として講演会などを実施します。「女性に対する暴力」は女性の人権を著しく侵害するもので、男女共同参画社会の実現を妨げる重要な課題です。



女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク

男尊女卑の価値観、依存症という切り口から、DVや性暴力をはじめとして、暴力を許さない社会の実現のために何が必要か一緒に考えてみませんか。

講師

さいとう あきよし

齊藤 章佳さん

西川口榎本クリニック副院長
(精神保健福祉士/社会福祉士)



1979年滋賀県生まれ。国内最大規模といわれる依存症施設である榎本クリニックにソーシャルワーカーとして、20年以上にわたりアルコール依存症を中心にギャンブル・薬物・摂食障害・性犯罪・児童虐待・DV・クレプトマニアなど様々なアディクション臨床に横断的に携わる。2024年10月から現職。

専門は加害者臨床で現在まで3500名以上の性犯罪加害者の治療に関わり、その家族支援も含めた包括的な地域トリートメントに関する実践・研究・啓発活動に取り組んでいる。

「男尊女卑依存症社会」(亜紀書房、2023)、「夫が痴漢で逮捕されました一性犯罪と『加害者家族』」(朝日新聞新書、2025)など著書多数。

会場

男女平等推進センター
210・211 研修室

対象

どなたでも
当日会場
50名
先着順



←会場受講・後日録画配信(12月中旬から2週間予定)の申込はこちら

申込

11月1日(土)9:30受付開始
電話、FAX、申込フォーム、センター窓口

その他

参加・一時保育・手話通訳・
要約筆記無料
一時保育(6カ月から就学前)、
手話通訳、要約筆記は11月13日(木)まで
にお申込みください。

問合せ

久留米市 男女平等推進センター
〒830-0037 久留米市藤原町1830-6
えーるピア久留米内
Tel **0942-30-7800**
Fax **0942-30-7811**
Mail **danjo-c@city.kurume.lg.jp**

